

新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 238

R3. 11月号

立入制限と休館についてのお知らせ

【空調設備改修工事、倉庫棟照明設備更新、特別資料整理期間に伴う立入制限と休館について】

毎週月曜日

休館（フォンテ文庫を除く市立図書館全館）

11月2日～14日

立入制限

※本館の常設カウンターで返却、予約本の貸出しなどを行います

11月15日～30日

休館（フォンテ文庫を除く市立図書館全館）

12月

立入制限

※研修室の仮設カウンターで返却、予約本の貸出しなどを行います

| 11月 | | | | | | |
|-----|-------|-------------------------|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 休館日 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | | 本館・倉庫棟立ち入り不可 本館カウンター利用可 | | | | |
| 7 | 8 休館日 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| | | 特別整理期間のため休館 | | | | |
| 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 |
| 28 | 29 | 30 | | | | |

- 通常再開は令和4年1月5日(水)の予定です
- 開館時間に変更はありません
- おはなしのしずくのおはなし会は12月まで中止となります

12月末までの開館中、下記の利用はできません

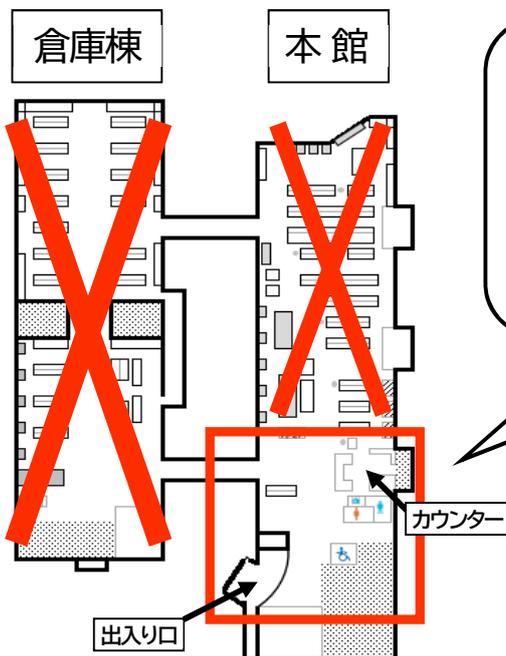


- 館内への立入り(研修室など一部を除く)
- 新屋図書館所蔵資料の閲覧・貸出し・検索・予約
(事前に棚から出した一部資料を除く)
- 学習机・インターネット用PC・コピー機による複写サービス

12月末までの開館中、下記の利用はできます



- 他の秋田市立図書館で予約した資料の受け取り
- 「かぞくぶっくぱっく」などの貸出し
- 資料の返却
- 当日の新聞の閲覧 ※長時間の利用はできません



11月中は
本館で立入りができるのは
カウンター周辺のみとなります
(書架は立入りができなくなります)

ご迷惑をおかけしますが
ご理解とご協力をお願いいたします



11月のイソップ号特別巡回のお知らせ

立入制限期間中は新屋図書館にイソップ号が特別巡回します

| 内容 | 大人の本、こどもの本 積載 | こどもの本 積載 |
|------|----------------|----------|
| 11月 | 11日(木), 13日(土) | 4日(木) |
| 巡回時間 | 14:00~14:45 | |

【利用の際の注意】

- イソップ号の本は新屋図書館カウンターではなく、直接車内で貸出しの手続きをしてください
- イソップ号の本は貸出し日の翌日から「読書の記録帳」へ記帳できます

新 刊 案 内

方向音痴って、なおるんですか？

吉玉 サキ／著

交通新聞社 請求記号 448.9 (地図)

地図を持つと常に進行方向にまわってしまう。一歩目は勘で歩き出す。個室居酒屋ではトイレに行くと戻ってこられない。領いたそのあなた！認知科学者から脳が迷わないコツを、地図作家から地図の読み方と街の捉え方を、地図マニアから地形の味わいを、地図研究家から地名の紐解き方を学びましょう。

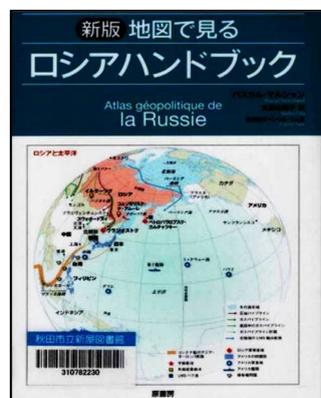


地図で見るロシアハンドブック 新版

パスカル・マルシャン／著 太田 佐絵子／訳 シリル・シュス／地図製作
原書房 請求記号 302.38 (ロシアの社会事情)

ヨーロッパから極東までの広大な国土を持ち、天然ガスや原油などの資源大国でもあるロシア。その社会事情を「地図」というツールを使い、わかりやすく解説している本です。

様々な視点から隣国ロシアを見ると、新発見があるかもしれません。

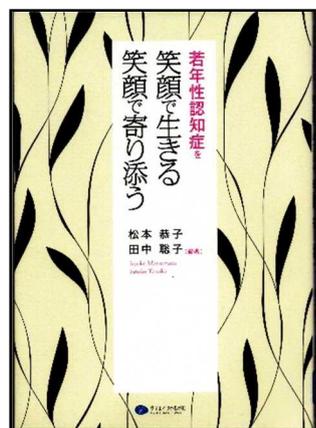


若年性認知症を笑顔で生きる笑顔で寄り添う

松本 恭子、田中 聡子／編著

クリエイツかもがわ 請求記号 493.75 (認知症)

働き盛りでも発症することがある若年性認知症は、職場で「仕事ができない人」というレッテルを貼られ退職に追い込まれるケースが多いのが現状です。本書では著者の松本さんの夫・照道さんの事例を挙げ、家庭内での課題や社会で孤立しないための生き方を考察します。

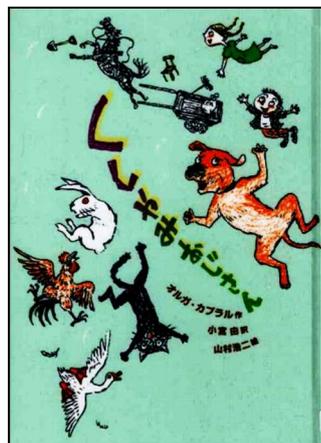


くしゃみおじさん

オルガ・カブラル／作 小宮 由／訳 山村 浩二／絵

岩波書店 請求記号 93カ (読み物) ※小学1年生ころから

何不自由なく幸せに暮らしていた、うさぎとねこと犬。ある日、通りかかったおじさんが大きなくしゃみを三回すると、三匹の耳や声が入れ替わってしまってさあ大変！元に戻してもらおうとおじさんを探しに出かけますが、くしゃみの被害者はほかにもいたようで…。



記事になったお酒の話題あれこれ・・・男鹿に醸造所！・・・

10月の秋晴れの日、旧男鹿駅に、空に負けない美しい色のタペストリーがはためきました。以前もこのコーナーに書いたことがありましたが、新屋図書館移築開館20周年記念講演をしてくださった岡住修兵さんの醸造所「稲とアガベ」が今月ついにオープンします！日本酒製造免許の新規取得は現行法では不可能。それでも、情熱ある若者が国内新規参入し発展させていくことが必要だという信念を持ち、まずはどぶろく醸造、輸出酒製造からスタートさせ規制緩和の方向を探ろうと未来を見据えます。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】
「稲とアガベ」公式ホーム
ページおよびfacebook

今、あなたへ・・・秋田を知る・・・

皆さんは郷土資料(秋田県関係の本)が普段は倉庫棟に並んでいることをご存知でしょうか。

現在その郷土資料の中から何点かをカウンターの前に別置しております。今回はその中から2冊を選び、皆さんにご紹介いたします。

まずは「夢の迷走」(条田 瑞穂/著、イズミヤ出版)。秋田から上京し演劇の世界で活躍後、新宿でジャズバーを開く。そしてガン治療で秋田へ帰るまでをまとめた著者の半世紀です。

もう1冊は「秋田 山菜の山 きのこの森」(永田 賢之助/著、無明舎出版)。秋田のきのこについては第一人者である著者が、絵・写真を交えて解説する同書です。これからの季節にぴったりの1冊となるでしょう。

この2冊が、皆さんが秋田を知る一助となれば幸いです。



図書館員のひとりごと

履歴書で趣味＝読書にすると、何も取り柄がないという意味になると、昔のリクルート雑誌には書いていました。

で、私が若い頃よく読んだのが、ルポルタージュ。大げさな装飾語やわざとらしい表現を排し、事実のみを綴って何かを感じさせるハードな本が大好きでした。極地の民族、えん罪、戦場などのテーマをありったけの気力と体力と好奇心を使って読んだものでした。

ちなみに、今はもう三つともあまりありませんが。

(菊地)

芸術の秋、スポーツの秋などいろいろな秋がありますね。図書館職員なのでここで本当は読書の秋と言いたいところですが、私は断然食欲の秋です。

秋田県内でも平鹿のりんご、山内のぶどう、鹿角のももなど多くの果物が生産されていますが、これのおいしいこと！

同じりんごでも品種が違くと味も歯触りも違うので、食べ比べて楽しんでいます。

今年は雪や霜の影響などで収量も減り農家の方たちも大変だったと聞きますが、新鮮で今が旬の地元秋田の物を食べることで微力ですが応援していきたいと思えます。(飯野)